

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一般廃棄物処理管理事務		20年度予算コード	1	整理番号	520	枝番号	
担当部課名	環境清掃部清掃管理課	コード	300300	昨年度 整理番号	687・695・697・699				
係名	管理係	連絡先 電話番号	3727						
上位施策名	No	20	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 家庭廃棄物及び事業系一般廃棄物 一般廃棄物処理業者		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	家庭廃棄物、事業系廃棄物の排出量を把握し、排出された一般廃棄物が滞ることのないように、円滑な処理計画を策定するための調査等を行い、適正処理に必要な方策を実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 処理計画に定めた排出量の目標値に近づけ、廃棄物の分別状態を良好にし、円滑な廃棄物処理ができるようにする。					
	活動指標名(式)	(1) 一般廃棄物搬入ごみ組成調査実施車両延台数 (2) 一般廃棄物処理業者許可(新規・更新)件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 一般廃棄物の処理施設搬入量 (2) 事業系一般廃棄物(普通ごみ)搬入量(持込ごみ量)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	台	8	8	10	8	8	125.0	
	活動指標(2)	件	127	323	160	127	125	128.0	
	成果指標(1)	t	125,419	123,127	120,595	114,195	84,282	143.1	
	成果指標(2)	t	30,112	29,427	28,838	27,293	27,101	106.4	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	8,699	16,205	14,797	8,955	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	4,095	9,460	9,303	3,631			
	職員数(常勤 非常勤)	人	5.82 1.00	5.56 1.00	5.82 1.00	5.06 2.00			
	人件費	千円	52,729	50,818	53,195	46,248	19年度事業費は、一般廃棄物処理基本計画策定のためのコンサルタント委託料が含まれている。 成果指標(1)は、指定処理施設(清掃工場等)への家庭廃棄物総搬入量(焼却・不燃・粗大) 成果指標(2)は、指定処理施設(清掃工場等)への事業系一般廃棄物総搬入量		
	非常勤職員分	千円	2,830	2,770	2,770	5,540			
	総事業費 + +	千円	64,258	69,793	70,762	60,743			
	単位あたりコスト(-)÷	円	8,032,250	8,724,125	7,076,200	7,592,875			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0			0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	64,258	69,793	70,762	60,743			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	一般廃棄物搬入ごみ組成調査及び基本計画策定に係る調査等		1	式	9,303				
	一般廃棄物処理業者許可・指導に係る共同実施分担金等				772				
	廃棄物情報管理システム保守管理				3,279				
	在宅医療廃棄物収集支援		1	団体	84				
その他 (運転手休憩室維持管理等)				1,359					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 520 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	125.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	49.5	19年度予算 執行率%	91.3
		事業系一般廃棄物処理業者に対する許可更新に向けた講習会及び業の手引き作成にあたり、23区共通使用版として編集し、23区で作成費用を分担した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成19年度には、一般廃棄物処理基本計画の策定にあたり、コンサルタントに委託した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成18年度に事業系一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可に係る事務が、東京二十三区清掃協議会から移管された。平成19年度に、10カ年計画の一般廃棄物処理基本計画を策定した。本年度、廃棄物処理手数料の引上げが行われた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成18年度に実施した区民アンケートによると、リサイクルやごみ収集に関する意見から、集積所回収方式に対する問題点や課題が浮き彫りとなっている。					
	今後の予測	1人あたりのごみ排出量の計画数値達成のために、新たな施策の展開が必要となってくる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 一般廃棄物処理計画は、法に規定された自治体に課せられた責務であり、この計画により区内の廃棄物が円滑かつ適正に処理される。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 排出実態や区民の意向等の調査について、計画数値の根拠を見出せるようなデータが集積できるようにする。許可業者への立入検査等により、事業系廃棄物の排出実態等を探っていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 行政が主体となる事業であるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 調査事業について、価格と事業内容を評価する選定方式を導入して、低コスト・高品質の調査を目指す。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 調査事業については、民間業者への委託により実施している。区は調査結果に基づく施策の検証を行うにあたって、実施業者の意見等も踏まえ、処理計画に反映していく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区の清掃・リサイクル事業の指針である「一般廃棄物処理基本計画」は、概ね5年ごとに改定するものとしている。改定に必要な、区の廃棄物の排出状況、区民の要望などのデータの収集、調査を行う。 さらに、許可業者への立入指導や浄化槽利用者への下水道への働きかけ等を引続き実施し、その状況等も、処理計画改定の際に役立てていく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区の廃棄物の排出状況を把握するために必要な「ごみ組成調査」については、今後、車両中継所や中間処理施設が変更となった場合に、これまでと同条件の調査を実施し、継続的なデータとするために他機関等との調整が必要となる。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 円滑な廃棄物処理を実施するための基礎データとするための調査等を引続き行う。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみ・し尿の収集・運搬			20年度予算コード	3	整理番号	522	枝番号	
担当部課名	環境清掃部清掃管理課		コード	300300		昨年度 整理番号	693・687			
係名	清掃計画係		連絡先 電話番号	3725						
上位施策名		No	20		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物処理及び再利用に関する条例 (3) 杉並区廃棄物処理及び再利用に関する規則					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 1 区内一般家庭 2 事業者(排出日量50kg未満)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬する。さらに、より区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上をめざす。					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区民等が分別し排出した可燃ごみ・不燃ごみを中間処理施設又は車両中継施設に搬入する。粗大ごみは、受付、収集、中継所までの運搬及び日曜収集、中継所への区民持込を委託により実施している。							
	活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ごみ(可燃、不燃、粗大)の収集量 (2) 粗大ごみの収集点数							
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	22年度			
	活動指標(1)	t	125,419	123,127	120,595	114,195	84,282	143.1		
	活動指標(2)	点	322,651	323,000	322,993	323,000	323,000	100.0		
成果指標(1)	g/人・日	649	644	618	587	430	143.7			
成果指標(2)	円/t	8,163	9,453	8,997	9,595					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	943,877	1,018,017	956,342	1,133,833	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円							
	(内) 委託費		千円	442,874	115,956	135,589	119,066			
	職員数(常勤 非常勤)		人	185.95 24.00	175.98 23.00	178.05 23.00	162.08 18.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,684,707	1,608,457	1,627,377	1,481,411			
		非常勤職員分	千円	67,920	63,710	63,710	49,860			
	総事業費 + +		千円	2,696,504	2,690,184	2,647,429	2,665,104			
	単位あたりコスト(-)÷		円	21,500	21,849	21,953	23,338			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	2,696,504	2,690,184	2,647,429	2,665,104				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)		
		可燃ごみ・不燃ごみ収集運搬				311	日	626,991		
		し尿収集運搬				65	戸	8,037		
		粗大ごみ収集運搬				362	日	163,463		
		収集作業員人件費(臨時)						112,488		
その他 ()						45,363				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 522 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	97.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	93.9
	区民のごみ減量努力などにより、ごみが減量となったため、活動指標(1)は97.9%の執行率となった。					

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成19年度は、平成17年度外部監査の指摘事項である「ごみ収集事業民間委託検討会」を設置し、家庭ごみ収集運搬作業の民間委託に向けた条件等を検討した。これに基づき、20年度から、粗大ごみの収集運搬を民間委託とした。
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	ごみ減量及びリサイクルの推進が課題となっている。プラスチック製容器包装やペットボトルの回収を一部地域実施、廃プラスチックサーマルリサイクルのモデル実施をしてきたが、平成20年4月から区内全域での実施となった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	集積所管理が特定の利用者に偏っていたり、ごみを出す人のマナーなどによるトラブルが発生しており、戸別収集を希望する声が多く寄せられている。ごみ出しの利便性を向上させるためにも、戸別収集の検討を実施していく。
	今後の予測	ごみ出しの利便性向上や排出したごみの責任を明確にすることによる分別の徹底を図るため、戸別収集の導入を検討する。また、ごみ減量に有効な家庭ごみ有料化については、一定量まではこれまでどおり無料で収集するような、区独自の有料化実施方法を検討していく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:ごみの収集運搬は、区民の日常生活に密着し、且つ、不可欠な事業である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:20年4月から廃プラスチックサーマルリサイクルが区内全域で開始し、ごみの減量が見込まれる。効率性、安全性を考慮しながら、ごみ量に見合った作業計画の見直しを行う。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:家庭から排出される可燃ごみ、不燃ごみは無料で収集を行っているため、ごみ減量努力が報われず、不公平感がある。このため、ごみ減量に報いるため、一定量までの排出はこれまでどおり無料で収集するが、それ以上の量の排出については負担の公平性を図るため有料化を検討していく。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容:段階的に、収集運搬業務の民間委託を進めることで、コストを下げる事が可能である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 19年度は、可燃ごみ・不燃ごみ収集車両(稼働台数)の約41%、し尿収集車両の100%を民間業者から配車し、収集作業の一部を人材派遣等による作業員で行っている。20年度は粗大ごみ収集運搬を民間業者に委託した。
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
--------------------	---	--

今後の事業のあり方 (中長期)	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ごみの減量には、戸別収集と家庭ごみ有料化が有効である。自らの家の前にごみを出す戸別収集を実施することにより、ごみ出しの利便性を向上させ、かつ、集積所に係るトラブルを解消することができる。22年度までには、戸別収集を実施できるよう検討を進める。併せて家庭ごみ収集運搬について段階的に委託を進める。また、一定量まではこれまでどおり無料で収集するような家庭ごみ有料化は、きめ細かな配慮が行き届く制度となるよう実施方法等を検討していく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 戸別収集と一定量までは無料の家庭ごみ有料化は、区民にとって、ごみ収集の大きな変化となる。このため、区民に理解され、協力される制度とするためには、区方針(案)の区民への周知を徹底して実施し、且つ、区民から多くの意見を伺った上で決定していかなくてはならない。

21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 不燃ごみを搬入する中継施設の変更に伴う作業形態の変更、戸別収集の一部地域実施などを行うため、車両の増加が見込まれる。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみ・し尿運搬の中継業務		20年度予算コード	4	整理番号	523	枝番号
担当部課名	環境清掃部杉並清掃事務所		コード	301500	昨年度 整理番号	705・708		
係名	方南担当管理係		連絡先 電話番号	3323-4571				
上位施策名		No	20	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3)				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 ・収集したし尿及び粗大ごみ ・杉並区ほか近隣2区において収集した不燃ごみ		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 中継所を適切に管理運営することにより、効率的な収集・搬出を行う。中・大型車に積替えることで運搬車両台数を減らし、環境への負荷を最小限にする。				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	・小型車で収集したし尿や粗大ごみを中・大型車へ積替え、処理施設へ搬出する堀ノ内中継所(民間施設)の管理運営を行う。 ・小型車で収集した不燃ごみを大型コンテナ車へ積替え、中間処理施設へ搬出する杉並中継所の管理運営を行う。		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 積み替え後、コンテナ車出庫総延台数 ÷ 中継所搬入総延台数 (2) し尿搬出車両台数				
	活動指標名(式)	(1) 杉並区・中野区・練馬区の不燃ごみの中継量 (2) 搬出したし尿量						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%
	活動指標(1)	t	53,277	51,300	47,123	32,000	0	
	活動指標(2)	kl	1,942	2,000	1,951	2,000	2,000	97.6
	成果指標(1)	%	14	15	14	14	0	
	成果指標(2)	台	466	465	414	420	420	98.6
総事業費・コスト把握	事業費	千円	825,796	798,026	759,681	669,105	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0		
	(内) 委託費	千円	64,237	67,295	65,414	67,864		
	職員数(常勤 非常勤)	人	14.79 2.00	14.35 0.00	14.83 0.00	12.35 1.00		
	人件費	千円	133,997	131,159	135,546	112,879		
	非常勤職員分	千円	5,660	0	0	2,770		
	総事業費 + +	千円	965,453	929,185	895,227	784,754		
	単位あたりコスト(-) ÷	円	18,121	18,113	18,998	24,524		
	財源	千円	0	0	0	0		
	国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0		
特定財源計 +	千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -	千円	965,453	929,185	895,227	784,754			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0			
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)			
	不燃ごみ中継の搬出車両台数		4,904	台	425,010			
	粗大ごみ中継の搬出車両台数		2,805	台	22,269			
	し尿中継の搬出車両台数		414	台	27,785			
	その他 ()				284,617			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 523 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	91.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	97.6	19年度予算 執行率%	95.2
		・杉並中継所の搬入量変更に伴い大型コンテナ車搬出台数を削減した。 ・特定家庭用機器(家電4品目)が不法投棄された場合の経費が予定を下回る執行だった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		20年4月から粗大ごみの収集運搬を業務委託したため、これに係わる委託経費が増大したが、粗大ごみ収集の人員が必要なくなったため、資源(廃プラスチック)収集職員を増員し、20年4月からの廃プラスチックサーマルリサイクル収集体制の強化を図った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・区内のし尿収集戸数、11年度118戸、19年度65戸・13年4月から家電リサイクル法が施行された。 ・18年10月から廃プラスチックサーマルリサイクルを区内一部地域でモデル実施し、19年10月にモデル地区の拡大を図り、20年4月から区内全域で実施した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	粗大ごみは、業務委託契約してる民間業者が申込み受付及び収集運搬を行っているが、申込みから収集までの期間短縮が図られた反面、申込みの際の電話が混み合っていて、かかりづらいことが多いとの苦情がある。					
	今後の予測	・し尿収集は、対象者に高齢単身世帯が多いため、今後も収集戸数の減少傾向が続くものと予測される。 ・新しいごみの分け方・出し方のPRに努め、分別の徹底により不燃ごみを大幅に減量させ、杉並中継所を不要なものとしていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 収集したし尿・粗大・不燃ごみを中継所において、より大型の車に積替えて処理・処分場へ輸送することにより、迅速かつ効率的な収集と輸送を実現し、輸送コストの節減と環境への負荷を軽減している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ・し尿の貯留槽や排出車両の一層の適正管理に努める。 ・不燃ごみの減量に伴い、杉並中継所のアームロール車を4台減車し、杉並中継所を廃止するための検討を行っている。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: ・し尿収集については、23区で統一して無料収集と決められている。 ・粗大ごみは、20年4月から品目ごとの単価の見直しを行った。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[執行体制改善(組織統廃合、簡素化)]	理由または具体的内容: ・20年度末に杉並中継所の廃止を目指している。 ・し尿・粗大中継施設は、区内に1箇所しかないため、競争原理が働きにくく、設備の更新や委託業務経費の削減につながりにくい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 現在、し尿・粗大ごみの中継所は民間業者の敷地・設備を賃貸借契約で借り受けている。また収集運搬等についても業務委託をしている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・し尿収集対象の高齢単身世帯に対し、収集時に安否の確認を含め居住実態の把握を行っていく。 ・粗大ごみ収集運搬は、20年度4月から民間業者が委託契約により行うことになったため、委託会社との連携を密に取り、排出者の要望に応じたきめ細やかなサービス向上を実現していく。 ・20年4月から廃プラスチックサーマルリサイクルを区内全域で実施したことにより、不燃ごみの減量化と資源化の徹底を図り、杉並中継所をできるだけ早期に不要なものとしていく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 杉並中継所は杉並区のほか近隣2区の不燃ごみの一部も受入れているため、廃止後の跡地の活用の検討とともに他区との調整検討が必要である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 区内全域で廃プラスチックサーマルリサイクルを実施したことにより、不燃ごみの大幅な減量が見込まれ、20年度末に杉並中継所の廃止を目指している。なお、廃止後の跡地の活用については、区民の健康と暮らしの安全確保を視点に20年度において検討する予定である。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	ごみ・資源の排出の適正管理	20年度予算コード	6	整理番号	525	枝番号
-----------	---------------	-----------	---	------	-----	-----

担当部課名	環境清掃部杉並清掃事務所	コード	301500	昨年度 整理番号	693・701・702・706・707
係名	管理係	連絡先 電話番号	3392-7281		

上位施策名	No	20	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上
-------	----	----	---------------------

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区民及び区内事業者並びに区内建築物所有者及び管理者	(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3)
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 事業系及び粗大用ごみ処理手数料の徴収、動物死体処理手数料の徴収、ごみ排出の適正化指導、集積所のカラス等による被害の防止対策、大規模建築物の所有者への排出指導	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） ごみの分別の徹底を働きかけ、カラス等による集積所の被害を防止するために区民等が取り組みやすくより低コストで効果的な方策を探り、集積所の衛生状態や街の美観を保持する。
	活動指標名(式) (1) 廃棄物処理手数料の収納済額 (2) 事業用大規模建築物への立入指導件数	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 廃棄物処理手数料の徴収率 (2)

区分	単位	18年度		19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%		
		実績	計画	実績	計画					
指標	活動指標(1)	円	346,311	376,441	322,626	425,141				
	活動指標(2)	件	62	90	131	90	120	109.2		
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100	100.0		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	49,903	88,415	71,138	79,759	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費	千円	19,794	22,938	14,482	23,656				
	職員数(常勤 非常勤)	人	32.78 1.00	32.63 1.00	33.00 1.00	34.13 1.00	平成22年度の収納額の目標値については、ごみ減量化及び処理経費等の要因があり設定できない。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	296,987	298,238	301,620				311,948
		非常勤職員分	千円	2,830	2,770	2,770				2,770
	総事業費 + +	千円	349,720	389,423	375,528	394,477				
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,010	1,034	1,164	928				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0				0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0				0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	349,720	389,423	375,528	394,477				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					

19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	有料ごみ処理券徴収事務委託料		140	店	2,186
	動物死体処理委託料		1,575	頭	2,740
	折り畳み式ごみボックス		726	台	18,491
	黄色いごみ袋		700	件	6,456
	その他 ()				41,265

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 525 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	85.7	活動指標(2)の 19年度達成率%	145.6	19年度予算 執行率%	80.5
		廃棄物管理責任者講習会テキスト等の資料を庁内印刷及び庁内カラーコピー機を利用して作成し、経費の削減に努めた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		20年度からのごみの分け方・出し方の大幅変更に伴い、地域ごとの住民説明会を60回以上開催し周知した。また、廃棄物処理手数料の改定に伴う公募店に対する説明会を開催した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	20年度より、ごみの分け方・出し方が大幅に変更されるとともに、廃棄物処理手数料も改定された。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	区民の環境意識の高揚に伴う清掃への関心が高まっている一方で、分け方・出し方に関する質問や要望・苦情も多くなっている。					
	今後の予測	ごみ減量施策の一環として、集積所方式から戸別収集方式への変換と家庭ごみの有料化が検討されている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 適正な排出の指導の徹底やPR活動によるごみ減量、リサイクルの推進、不法投棄の抑制、街の美観保持への効果は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 戸別収集方式の導入及び家庭ごみの有料化					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 家庭ごみの有料化					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 家庭ごみの有料化に伴う有料ごみ袋の導入。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 行政指導や勧告を行うことがあるため、現行制度上では区が行う必要がある。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
	(1) 戸別収集を実施する。 ・21年10月 一部実施 ・22年4月 実施区域拡大 ・22年10月 完全実施 (2) 家庭ごみ有料化制度の導入 ・(1)の戸別収集の実施状況を踏まえて、可能な限り早期に導入する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 体系的な計画と関係部署の連携 (2) 区民への周知と理解	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 平成20年度年度当初より開始したプラスチック製容器包装の分別回収や廃プラスチックのサーマルリサイクルの区全域での実施により、事業にかかる経費は当面現状のまま推移すると考えられる。今後は、家庭ごみの有料化や個別収集の開始の検討の結果により、事業経費の増減が予想される。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	清掃一部事務組合分担金等	20年度予算コード	8	整理番号	527	枝番号
-----------	--------------	-----------	---	------	-----	-----

担当部課名	環境清掃部清掃管理課	コード	300300	昨年度整理番号	694
係名	管理係	連絡先電話番号	3723		

上位施策名	No	20	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上
-------	----	----	---------------------

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度 事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 東京二十三区清掃一部事務組合 東京二十三区清掃協議会	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業 根拠法令等 (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 東京二十三区清掃一部事務組合規約 (3) 東京二十三区清掃協議会規約	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） ごみの中間処理を23区共同で処理する。 雇上会社にける清掃車両の配車調整を行う。	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 区が負担金を支出することにより、東京二十三区清掃一部事務組合が可燃、不燃、粗大ごみの中間処理及びし尿の下水道投入について共同処理を行う。また、東京二十三区清掃協議会は、各区及び東京二十三区清掃一部事務組合との連絡調整を行う。	
	活動指標名(式) (1) 杉並区のごみ処理量 (2) 杉並区のし尿処理量	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 杉並区のごみ処理量割合(23区比) (2)	
	事業費 (内) 投資的経費等 (内) 委託費		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)
	職員数(常勤 非常勤) 人 0.50 0.00 0.50 0.00 0.50 0.00 0.50 0.00		
人件費 常勤職員分(超勤分含む) 千円 4,530 4,570 4,570 4,570 非常勤職員分 千円 0 0 0 0			
総事業費 ++ 千円 2,278,395 2,522,070 2,522,070 2,530,663 単位あたりコスト(-)÷ 円 18,166 19,989 20,914 22,902			
財源 受益者負担分 千円 0 0 0 0 国・都等からの支出金 千円 0 0 0 0 特定財源計 + 千円 0 0 0 0 差引:一般財源 - 千円 2,278,395 2,522,070 2,522,070 2,530,663 受益者負担比率 ÷ % 0.0 0.0 0.0 0.0			

区分	単位	18年度		19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%
		実績		計画	実績			
活動指標(1)	t	125,419		126,173	120,595	110,498	88,137	136.8
活動指標(2)	t	138		138	129	133	135	95.6
成果指標(1)	%	5.68		5.34	5.67	3.29	2.62	216.41
成果指標(2)								

総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,273,865	2,517,500	2,517,500	2,526,093	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0		
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0		
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,530	4,570	4,570		4,570
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費 ++	千円	2,278,395	2,522,070	2,522,070	2,530,663		
	単位あたりコスト(-)÷	円	18,166	19,989	20,914	22,902		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0		0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0		0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	2,278,395	2,522,070	2,522,070	2,530,663		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0			

19年度の主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
	東京二十三区清掃一部事務組合分担金			2,517,316
	東京二十三区清掃協議会負担金			184
	その他 ()			0

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 527 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	95.6	活動指標(2)の 19年度達成率%	93.5	19年度予算 執行率%	100.0
		サーマルリサイクルのモデル実施や資源品目の拡大、ごみの減量意識の醸成などにより、ごみ量の減量結果に結びついた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		20年度財政計画においては、サーマルリサイクルの実施による運営費の増や原油高騰による経費、公債費の償還を見込み、23区分担金は463億円とした。その後の手数料改定による22億円の影響額を差し引き、441億円に分担金総額を圧縮してきた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度清掃事業区移管に伴う事業開始 東京二十三区清掃一部事務組合分担金 23区総額の推移 12年度:38,736,990千円 13年度:41,598,973千円 14年度:39,000,216千円 15年度:38,760,199千円 16年度:38,710,852千円 17年度:39,001,783千円 18年度:39,795,300千円 19年度:43,574,000千円 20年度:44,074,000千円					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	なし					
	今後の予測	平成18年度から東京二十三区清掃一部事務組合分担金の各区分担金額算出方法が変更になり、従来の人口割のみではなく、各区のごみ量割相当分と併せて算出することとなった。このため、各区のごみ減量の取組みの成果がコスト削減につながるようになる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 中(理由)	理由:東京二十三区清掃一部事務組合は、区が行う収集・運搬以外の処理・処分やし尿処理を行っている。また、東京二十三区清掃協議会は、清掃車両雇上会社への配車調整等を行い正しいごみの排出、円滑な収集・運搬事業を実現させている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:プラスチック容器包装、ペットボトルなどの分別収集の徹底や資源品目の拡大、集団回収の推進、生ごみのリサイクルなどを行うことにより、ごみ減量の実現を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:東京二十三区清掃一部事務組合及び東京二十三区清掃協議会は23区が設立した特別地方公共団体であるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:23区全体のごみ量を減らすことにより東京二十三区清掃一部事務組合経費が削減できることから、当区においてもごみの削減に向けた取組を行っている。18年度から各区のごみ量に応じて分担金額が算出されることから、更なるごみ減量が区の負担割合の減少につながる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 事業の目標であるごみの中間処理やし尿の処理は24番目の区である東京二十三区清掃一部事務組合で行うことであり、事実上、区と同様な組織であることから、行政直轄として位置づける。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 プラスチック容器包装、ペットボトルなどの分別収集の拡充や集団回収の推進、生ごみのリサイクルなどを行うことにより、ごみ減量の実現を図っていく。ごみ減量が東京二十三区清掃一部事務組合の経費削減につながるとともに、分担金の区負担割合も減少させることが可能となる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ごみ減量に向けた、区民への意識啓発とごみ減量を行うための具体的な実行方法の周知が必要不可欠となる。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ごみ減量を推進していくことにより、東京二十三区清掃一部事務組合分担金ごみ量割相当分を減少させる。(これまでの工場建設等の公債費の償還が22年度にピークを迎えることから、分担金の総額では、前年度を上回る可能性が極めて高い)	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並清掃事務所の維持管理			20年度予算コード	1	整理番号	529	枝番号		
担当部課名	環境清掃部杉並清掃事務所		コード	301500	昨年度 整理番号	703					
係名	管理係		連絡先 電話番号	3392-7281							
上位施策名		No	20		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上						
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 消防法 (2) 建築基準法 (3) 廃棄物の処理及び再利用に関する条例				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並清掃事務所及び下井草分室並びに杉並中継所の庁舎等の維持管理と運営を行なう。職員と業者委託による遂行。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 建物や設備等を適正に管理し、安全で機能的な執務環境を確保する。				
	活動指標名(式)		(1) 電気使用量 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 所管施設床面積あたりの二酸化炭素排出量(電気・ガス) (2)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	kwh	932,066	846,061	903,018	801,995	793,182	113.8			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	kg-co2/m ²	73	68	71	64	64	110.9			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	60,584	64,283	55,883	63,974	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0					
	(内) 委託費	千円	17,997	18,992	17,212	18,611					
	職員数(常勤 非常勤)	人	3.02 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	指標は削減目標なので				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	27,361	27,420	27,420					27,420
		非常勤職員分	千円	0	0	0					0
	総事業費 + +	千円	87,945	91,703	83,303	91,394					
	単位あたりコスト(-)÷	円	94	108	92	114					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0					0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0					0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	87,945	91,703	83,303	91,394					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	光熱水費				32,631						
	保守管理委託費				17,212						
	維持管理経費				1,906						
	施設等整備費				4,134						
	その他 ()				0						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 529 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	106.7	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	86.9
		施設の老朽化に伴い、排水管・建具などの修理が増加している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		20年度は下井草分室のキュービクル鋼鉄フェンス扉の交換修理を行なう。なお、設備に不具合が生じた場合は作業に支障をきたさないように速やかに修理を行なう。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	12年度の都から区への事務移管以降、組織の再編や統合、清掃職員の区職員への身分切り替え、ごみ収集方法の変更等、清掃事業をとりまく環境は大きく変化している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	杉並中継所の役割が評価されている一方で、操業停止を求める意見も一部にある。					
	今後の予測	杉並中継所は20年度をもって廃止される予定であるが、廃止後の跡地活用計画によっては、今後の施設の利用形態が変化することも予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 清掃事業は生活環境の向上には欠かせないものである。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 杉並中継所廃止後の跡地活用計画の検討の中で、一体的に検討する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担になじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 電気・水道・ガスなどの節約に取組み経費を可能な限り削減する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 光熱水費を除き、清掃・警備・ボイラー点検等の施設の維持管理に必要な業務を委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 (1) 全職員が杉並区環境方針を理解し、電気・水道・ガスなどの節約に取組み経費を可能な限り削減する。 (2) 事務所の配置・建て替え計画等については杉並中継所廃止後の跡地活用計画の検討の中で一体的に検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設の老朽化により、設備の故障が予見されるが、限られた財源の中で、内部努力をしながら現状維持を図る。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	限られた財源の中で、執務環境の改善を図って行く。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並清掃事務所の安全管理			20年度予算コード	2	整理番号	530	枝番号
担当部課名	環境清掃部杉並清掃事務所		コード	301500	昨年度 整理番号	689			
係名	管理係		連絡先 電話番号	3392-7281					
上位施策名		No	20		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	根拠法令等			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	清掃職員を対象に交通安全講習会(春・秋)を開催する。正副安全運転管理者対象の講習会に参加する。自動車運転職員対象の運転技術研修に参加する。安全作業に関する職場内研修の充実。部及び所の安全衛生委員会の定期的開催。安全パトロールの実施。保護員の支給及び適正な着用の指導。				(1) 労働安全衛生法 (2) 杉並区安全衛生委員会設置規定 (3) 安全作業手順			
	活動指標名(式)	(1) 交通安全講習受講者数 (2) 安全衛生委員会開催回数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 清掃職員の交通安全意識を高め、交通事故件数を減少させる。 安全な作業環境を構築し、公務災害の発生を防止する。			
		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) 交通事故等発生件数 (2) 公務災害発生件数			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	
	活動指標(1)	人	219	328	210	310	310	67.7	
	活動指標(2)	回	6	12	6	12	12	50.0	
	成果指標(1)	件	2	0	5	0	0		
	成果指標(2)	件	9	0	9	0	0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,195	9,686	6,267	7,849	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	2	106	8	21			
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.40 0.00			
	人件費	千円	9,060	9,140	9,140	12,796			
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	15,255	18,826	15,407	20,645			
	単位あたりコスト(-)÷	円	69,658	57,396	73,367	66,597			
	財源	千円	0	0	0	0			
	受益者負担分	千円	0	0	0	0			
国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0				
特定財源計 +	千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -	千円	15,255	18,826	15,407	20,645				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	保護具及び医薬品等の購入				3,718				
	被服洗濯代等				1,718				
	産業医謝礼金等				771				
	その他 ()				60				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 530 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	64.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	50.0	19年度予算 執行率%	64.7
		職員数の減に伴い、交通安全講習受講者数も減少した。保護具を耐久性のあるものに変更することにより予算を節減した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		安全で快適に作業を行うため、引続き、作業に最適な保護具や作業服等を導入していく。また、体験型安全運転研修会に職員を派遣し、安全運転の徹底を図っていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	清掃事業が東京都から区に移管された平成12年度には清掃職員(自動車運転手及び嘱託員含む)は405名であったが、平成20年度には294名となった。事業の効率化・委託化が進むとともに、20年度よりサーマルリサイクルを区内全域で実施するなど、清掃事業をとりまく環境が変化している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	運転マナー等に対する苦情が寄せられている一方で、迅速できめ細かな対応へのお礼も寄せられている。					
	今後の予測	引続き交通安全対策の充実・安全管理の徹底を図り、交通事故や作業上の事故を防止し、清掃事業を計画的に進めていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 常に、安全の意識を維持するように、交通安全講習会や安全衛生委員会を開催している。また、自動車運転者を対象に危険な状況を想定した研修会等に参加させ、運転技術の向上や交通事故の減少に取り組んでいる。こうした取組みが、けがの予防や事故の防止に役立ち、収集計画の確実な履行につながり、区民サービスの向上に寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 安全対策や交通安全に対する職員の意識を向上させることで、作業計画の確実な履行が可能となり、経費を抑えながら効果をあげることができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 交通安全対策や安全管理は、職務遂行上欠かせない事項であり、雇用者である区の責務である。このため、受益者負担に適さない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 講習会の参加費用は、実施機関が金額を決めており、費用のコストダウンは困難であるが、安全管理を徹底することで、事故の発生に伴う諸費用の支出を削減させることができる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 保護具・被服の購入や安全教育は、雇用者の責任として区が行っているが、産業医の派遣や被服の洗濯はすでに外部委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 安全で円滑な清掃作業を実現するため、「清掃車両事故の根絶」を目標に掲げ、部の重点事項として取り組む。保護具の完全着装により作業事故ゼロを目指すとともに、より安全で快適な作業着や保護具の採用や安全作業手順の見直しを行い、安全な作業環境を構築していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ローテーション現場であることから、講習会や研修等に全員を参加させるためには、複数回の開催が必要である。毎日のミーティングの中で安全作業手順の徹底について確認を行っていく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 引続き安全管理を徹底させ、事故ゼロを目指す。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並清掃事務所方南支所の維持管理		20年度予算コード	3	整理番号	531	枝番号			
担当部課名	杉並清掃事務所	コード	301500	昨年度 整理番号	703						
係名	方南担当管理係	連絡先 電話番号	3392-7281								
上位施策名		No	20	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 消防法 (2) 建築基準法 (3) 廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 方南支所 1875.64㎡(S53.12竣工) 杉並清掃事業所 2461.73㎡(H12.1竣工) 高井戸車庫(杉並清掃工場内) 1488.95㎡		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 建物や設備等を適正に管理し、安全で機能的な執務環境を確保する。							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並清掃事務所方南支所及び杉並清掃事業所並びに高井戸車庫(杉並清掃工場内)の庁舎等の維持管理と運営を行う。職員と業者委託による遂行。									
	活動指標名(式)	(1) 電気使用量 (2)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 所管施設床面積あたりの二酸化炭素排出量(電気・ガス) (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	kwh	565,150	663,913	544,386	629,334	622,418	87.5			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	kg-co2/m ²	68	78	77	84	83	92.8			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	71,087	90,758	76,672	97,192	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0					
	(内) 委託費	千円	29,523	35,642	32,255	45,003					
	職員数(常勤 非常勤)	人	3.50	3.50	3.50	3.50	高井戸車庫(事務棟)749.10㎡が、福祉事務所に所属換えになったため、活動指標が減少した。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	31,710	31,990	31,990			31,990		
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	102,797	122,748	108,662	129,182					
	単位あたりコスト(-)÷	円	182	185	200	205					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0			0		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0			0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	102,797	122,748	108,662	129,182					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	光熱水費		2	施設	30,764						
	保守管理委託費		3	施設	32,255						
	維持管理費		3	施設	7,007						
	施設等整備費		3	施設	6,646						
その他 ()				0							

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 531 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	82.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	84.5
		施設の老朽化や設備の耐用年数に伴い、給排水設備、電気設備、建具などの修理が増加している。				
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		方南支所地下車庫に、脱臭装置を設置する。また、老朽化に伴い、地下車庫シャッターの修理を行う。方南支所の執務環境の改善を図るため、職員ロッカーの入替えを行う。清掃事業所及び高井戸車庫の汚水処理装置や脱臭装置等の特殊な設備については、年次計画修繕により、常に良好な状態を保つようにしている。なお、設備に不具合が生じた場合は作業に支障をきたさないように速やかに処理を行う。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	12年度の都から区への事務移管以降、組織の再編や統合、清掃職員の区職員への身分切り替え、ごみ収集方法の変更等、清掃事業をとりまく環境は大きく変化している。また、平成19年度に高井戸車庫(事務棟)を廃止し、効率的な施設運営を行っている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特になし。				
	今後の予測	組織運営のより一層の効率化や、安全な施設管理が求められる。また、方南支所の老朽化により、今後、修繕箇所が増加する事が予測される。杉並中継所の廃止に伴い、跡地活用計画によっては、事務所統合等、今後の施設の利用形態が変化することも予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 清掃事業は生活環境の向上には欠かせないものである。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:老朽化した施設については、杉並中継所廃止後の跡地活用計画の検討の中で、事務所統合等を一体的に検討し、作業環境の改善や施設の安全確保を図って行く。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担になじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:杉並中継所の廃止に伴う、施設計画の見直しにより、維持管理経費のコスト削減ができる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 光熱水費を除き、清掃・警備・保守点検等の施設の維持管理に必要な業務を委託している。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 (1) 全職員が杉並区環境方針を理解し、電気・水道・ガスなどの節約に取組み経費を可能な限り削減する。 (2) 事務所の配置・建て替え計画等については杉並中継所廃止後の跡地活用計画の検討の中で一体的に検討する。 (3) 清掃事業所、高井戸車庫については、特殊な施設のため、計画的に保守管理を行い、コストダウンを図りながら、安全な施設運営を行う。 (2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 当面、施設の老朽化により、設備の故障が予見されるが、限られた財源の中で、内部努力をしながら現状維持を図る。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	杉並中継所廃止後の跡地活用計画の検討を踏まえ、限られた財源の中で、執務環境の改善、安全な施設運営を図って行く。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並清掃事務所方南支所の安全管理			20年度予算コード	4	整理番号	532	枝番号	
担当部課名	環境清掃部杉並清掃事務所		コード	301500		昨年度 整理番号	689			
係名	方南担当管理係		連絡先 電話番号	3323-4571						
上位施策名		No	20		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上					
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 清掃事務所、清掃事業所の職員、正副安全運転管理者、総括安全衛生管理者、安全管理者、衛生管理者、産業医				根拠法令等 (1) 労働安全衛生法 (2) 杉並区安全衛生委員会設置規定 (3) 安全作業手順				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	自動車運転及び清掃職員を対象に交通安全講習会(春・秋)を開催する。正副安全運転管理者対象の講習会に参加する。自動車運転職員対象の運転技術研修に参加する。安全作業に関する職場内研修の充実 安全衛生委員会の定期的開催。安全パトロールの実施。保護員の支給及び適正な着用の指導。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自動車運転職員の運転技術向上と安全運転意識を高め、交通事故件数を減少させる。安全な作業環境を構築し、公務災害の発生を防止する。				
	活動指標名(式)	(1) 交通安全講習会受講者及び自動車運転職員研修受講者数 (2) 安全衛生委員会開催回数				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 交通事故等発生件数 (2) 公務災害発生件数				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	人	123	128	112	128	128	87.5	/	
	活動指標(2)	回	11	12	12	12	12	100.0		
	成果指標(1)	件	17	5	11	0	0			
	成果指標(2)	件	10	5	14	0	0			
特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,908	7,683	4,943	7,765	/			
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0				
	(内)委託費	千円	8	119	13	84				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.80 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,248	7,312	7,312				7,312
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0
	総事業費 ++	千円	11,156	14,995	12,255	15,077				
	単位あたりコスト(-)÷	円	90,699	117,148	109,420	117,789				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0				0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0				0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	11,156	14,995	12,255	15,077				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	保護具及び医薬品等の購入				2,647					
	作業被服のクリーニング代		6,661	着	801					
	産業医謝礼金		1	人	771					
	安全運転派遣研修		9	人	476					
	その他 (破傷風予防接種委託費、安全運転管理者部会費など)				248					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 532 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	87.5	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	64.3
		保護具について、安全性を確保できる範囲となるべく使用期間を長くし節約している。医療品についても、その年度に必要なものを絞りこみ購入している。また、派遣研修費は業務上の都合により、予定数ほど実際に行くことができなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		安全で快適に作業を行うため、作業に最適な保護具や作業服等を随時検討し導入している。車両後退誘導研修、安全体験型の安全運転派遣研修、及び春・秋の全国交通運動実施期間に合わせた安全運転特別講習会等を実施し、交通安全に対する意識の高揚と安全運転の徹底を図っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	清掃事業が東京都から区に移管された平成12年度に、405名いた清掃職員(自動車運転手及び囃託員含む)は、平成20年度には294名となった。平成20年度から杉並区全域で、ごみの分別方法が大きく変更になった(サーマルリサイクルの実施)。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ごみの取り残し、運転マナー等に対する苦情が寄せられている一方で、迅速できめ細かな対応へのお礼も寄せられている					
	今後の予測	引き続き交通安全対策の充実・安全管理の徹底を図り、交通事故や作業上の事故を防止し、清掃事業を計画的に進めていく。また、個別収集、ごみの有料化及び清掃事務所の統合が予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 常に、安全の意識を維持するように、交通安全講習会や安全衛生委員会を開催している。また、自動車運転者を対象に危険な状況を想定した研修会等に参加させ、運転技術の向上や交通事故の減少に取り組んでいる。収集職員には、公務災害事例をもとに安全研修を実施している。こうした取り組みが、けがの予防や事故の防止に役立ち、収集計画の確実な履行につながり、区民サービスの向上に寄与している					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 安全対策や交通安全に対する職員の意識を向上させることで、作業計画の確実な履行が可能となり、経費を抑えながら効果を上げることができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 交通安全対策や安全管理は、職務遂行上欠かせない事項であり、雇用者である区の責務である。このため、受益者負担に適さない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 講習会等の参加費用は、実施機関が金額を決めており、費用のコストダウンは困難であるが、安全管理を徹底することで、事故の発生に伴う諸費用の支出を削減させることができる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 保護具・被服の購入や安全教育は、雇用者の責任として区が行っているが、産業医の派遣や被服のクリーニングはすでに外部に委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 安全で円滑な清掃作業を実現するため、「加害交通事故ゼロ」を目標に掲げ、部の重要課題として取り組む。保護具の完全着装により作業事故ゼロを目指すとともに、より安全で快適な作業着や保護具の採用や安全作業手順の見直しを行い、安全な作業環境を構築していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ローテーション職場であることから、講習会や研修等に全員を参加させるためには、複数回の開催が必要である。全員が参加できる計画を立て、全職員の参加を目指す。また、毎日のミーティングの中で安全作業、手順の徹底について確認を行っていく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 引き続き安全管理を徹底させ、事故ゼロを目指す。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃車両の運行及び維持管理			20年度予算コード	5	整理番号	533	枝番号		
担当部課名	環境清掃部杉並清掃事務所		コード	301500	昨年度 整理番号	704					
係名	杉並清掃事業所		連絡先 電話番号	3317-6771							
上位施策名		No	20		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上						
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	施策番号 事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (2) 道路運送車両法 (3) 自動車損害賠償法、自動車重量税法							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区所有清掃車両の運行 区所有清掃車両の車検、点検 自動車損害賠償責任保険への加入 自動車重量税の支払い 清掃車両の仕様の決定		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 作業計画どおりの配車を行う 清掃車両の買い替えは災害対策を配慮した低公害車への更新に努める							
	活動指標名(式)	(1) 年間延べ配車台数 (2) 低公害車の導入台数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 配車率 $\frac{\text{配車台数}}{\text{計画台数}}$ (2) 低公害車率 $\frac{\text{低公害車台数}}{\text{清掃車保有台数}}$							
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%		
			実績		計画		計画	22年度			
	活動指標(1)	台	6,342		6,200		6,200	6,200	101.3		
	活動指標(2)	台	25		24		24	24	100.0		
	成果指標(1)	%	100		100						
成果指標(2)	%	100		100							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	31,441		43,957		32,845	42,480	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 指標(2)は、低公害車保有台数(八都府市指定 低公害車)		
	(内) 投資的経費等	千円	0		0		0	0			
	(内) 委託費	千円	28		65		37	98			
	職員数(常勤 非常勤)	人	37.00	2.00	37.00	1.00	37.00	1.00		36.00	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	335,220		338,180		338,180		329,040	
		非常勤職員分	千円	5,660		2,770		2,770		0	
	総事業費 + +	千円	372,321		384,907		373,795	371,520			
	単位あたりコスト(-)÷	円	58,707		62,082		59,540	59,923			
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0		0	
		国・都等からの支出金	千円	0		0		0		0	
特定財源計 +		千円	0		0		0	0			
差引: 一般財源 -		千円	372,321		384,907		373,795	371,520			
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	清掃車維持管理 自動車用燃料 光熱水費				19,024						
	車両点検整備 一般需用費(材料品等)				12,053						
	維持管理経費 一般需用費・役務・委託・公課等				1,768						
	その他 ()				0						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 533 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	101.3	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	74.7
		清掃車両直営による運行及び維持管理による経費削減に努めた。 安全な車両運行のため、事故防止の徹底、計画的な車両整備を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している 場合、関連する新規事業がある場 合にはその概要も明記)		計画的かつ効率的な車両の車検・点検整備により安全運転を確保している。 清掃作業車を事業所で集中的に車検点検整備、修理を行うことで効率的な運営を図っている。 環境負荷や災害時の対応を考慮し、低公害車ディーゼル車等を導入している。修理部品 やタイヤの購入についても経費削減と環境面とを考慮して対処している。					
事業 環境 の 変 化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度、都から移管された事業である。16年度車両管理の集中化を図るため、購入は、 経理課に事務を移管した。17年3月には、高円寺、高井戸両車庫を統合し、配車を一元化し た。車両保有台数は、移管時の33台が、17年度26台、18年度25台、19年度末24台となる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	ごみの収集時刻 車の配車時刻 について要望がある。					
	今後の予測	ごみ量の逡減により、計画台数の減少も考えられるが、ライフラインを担う機関として災害時の 対応も考慮した適切な車両の確保を図っていく必要がある。					
事業 の あり 方 点 検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:ごみ収集を円滑に行うことにより、安定的な区民生活を確保できる。その ため作業計画どおりの配車を行い収集作業を円滑に完了させている。年末年 始対策車や臨時車の配車によりごみ量の変化に柔軟に対応している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:事業所には、車両整備担当職員が配置され実車、予 備車を順次点検している。これにより車両の調子を良好に保ち、安定的な配車 と円滑な収集作業を実現している。 理由または具体的内容:今後、車両の点検修理や安全運転を徹底し、 事故の諸費用を減らし、他の費用についても見直しを進める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:清掃車両の運行、点検修理については、受 益者負担はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:車両の点検修理を徹底し事故等減少を図り、 費用を間接的に減らす。保有車両の適正化を図る。また、部品の購入 法の再検討を進める。					
協働 等 点 検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題:清掃車両の委託割合は、事業移管時、一定 の割合が定められている。直営比率に満たない部分について業者委 託(雇上)で対応している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今 後 の 事 業 の あり 方 (中 長 期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 保有車両は、職員数に見合った直営車の運行を行っている。、保有車両の見直しは、平成16年度末30台、17年度末26 台、19年度までに24台と予備車の減車を進めている。車両は全て環境負荷の少ない天然ガス、低公害ディーゼル等である。 また、再生タイヤの利用等、部品の購入についてもコスト意識をもち運営している。事故を防止するため車両の点検整 備の励行と安全運転による補修費等事故関係費の節減を図りたい。	
2 1 年 度 方 針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事故については、予測不能であるが事故半減を目指し事故関係費の削減に努める。運転担当については、事故を起こし た職員に対する所内研修、外部の安全運転研修への参加の推進等、安全運転意識の向上を図る。車両については、点 検整備の充実を図る。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理 由 事故減による事故関係費の削減や部品購入等の支出執行時、費用節減努力による。